

筑西市学校跡地利活用計画（案）パブリック・コメント

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

【令和5年2月22日～3月15日（22日間）実施】

提出された意見の概要	意見に対する考え方
<p>筑西市立下館北中学校跡に筑西市の運営範囲で「筑西市歴史資料館」の設立を希望する。</p>	<p>学校跡地における歴史資料館の設置について、調査・検討させていただきましたが、結論として、学校施設として建築された建物の耐荷重が歴史資料等の重量物を想定していないこと等の理由から、歴史資料館としての活用は難しい、と判断しています。 しかしながら、本市が所有する歴史資料の保管については課題がありますので、引き続き、保管庫の整備について検討してまいります。</p>
<p>①下館北中を除く学校の活用 サウンディング型市場調査における提案A～Dに対する意見</p> <p>②提案者Eについて 宿泊型教育施設の事業展開が良いのではないかと。</p> <p>③私的立案 下館北中学校を宿泊型教育施設として活用する案が良い。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。 今後、事業提案型一般公募を実施する中で、該当する事業提案を受け付けた際には、ご提言を考慮させていただきます。</p>
<p>現在、明野支所や大村小周辺には6集落があるが、市民が集う公民館・集落センターがない。体育館がなくなると、学校開放事業はもとより、災害が起きた場合の避難所がなく、大変なことになると思う。大村小体育館は、校舎と分離できる構造なので、井戸やトイレがあり、換気も良いので避難所として最適である。防災組織で購入した緊急資材を、明野支所から移設し、「明野支所の多目館」として位置付け、残す方法で願いたい。</p>	<p>本計画（案）の検討にあたっては、「本市における利活用」を優先して検討した結果、対象施設における利活用にあたり、「事業提案型一般公募」を実施することを「基本の方向性」としています。 一方、大村地区における避難所につきましては、指定避難所である明野中学校や令和6年4月に開校する「明野五葉学園」の前期課程体育館、緊急避難場所である明野トレーニングセンター等、複数の施設を早期に開設することで、災害時の避難受入は十分に可能と考えています。 市では、関係自治会の皆様をはじめ、自主防災組織の皆様との連携をより強化し、災害時の情報伝達や避難誘導を迅速に行うことで、引き続き、地域の皆様の安心・安全を確保してまいります。 本計画によって予定している「事業提案型一般公募」の応募状況等を十分に勘案しながら、よりよい利活用を図ってまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。</p>